

第113回有機合成シンポジウム

主 催 有機合成化学協会

共 催 日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会

日 時：平成30年6月6日(水)～7日(木)

場 所：名古屋大学坂田・平田ホール [〒464-8603名古屋市千種区不老町]

交 通：詳細は以下ホームページをご参照下さい。
<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/>

発表形式：一般研究発表 ① A：口頭発表15分(質疑応答3分含む) B：口頭発表20分(質疑応答5分含む)
② ポスター発表

第1日目

[6月6日・水]

開会挨拶 09:45～09:50 岩佐精二(東海支部長/豊橋技科大院工)
[座長：大江浩一(京大院工)]

セッション①

- A-1. 09:50～10:05
新規BINOLリン酸触媒による窒素上無保護 α -ケチミノエステルへの直接的なFriedel-Crafts反応の開発と反応機構解析
(九大院薬) ○米崎凌平、近藤優太、Akkad Walaa、澤真尚、森崎一宏、森本浩之、大嶋孝志
- A-2. 10:05～10:20
C-H結合への分子内カルベン挿入反応を経由するtert-ブチル基の位置および立体選択的官能基化反応
(豊橋技科大院工) ○中川陽子、Soda Chanthamath、柴富一孝、岩佐精二

- A-3. 10:20～10:35
コバルト触媒による二酸化炭素捕捉過程を含む多成分連結反応の開発
(京大院工) ○藤原哲晶、野木馨介、久木田進、辻康之

- A-4. 10:35～10:50
新規キラルスピロスルホン酸の合成と不斉反応への応用
(北大院薬、名大院工) ○栗原拓丸、佐竹瞬、波多野学、石原一彰、吉野達彦、松永茂樹

** 休憩 (5分) **

[座長：垣内史敏(慶大理工)]

セッション②

- B-1. 10:55～11:15
温和なN-シリルケテンイミン調製法を基盤とする合成反応の開発
(静岡県大薬、北大院理) ○吉村文彦、葉山智拓、大内仁志、稲井誠、菅敏幸、阿部泰樹、斎藤優輝、谷野主持

- B-2. 11:15～11:35
HFIP溶媒を用いたプレステッド酸触媒による芳香環置換反応
(筑波大数理) ○藤田健志、高橋一光、林雅樹、庄司訓章、市川淳士

- B-3. 11:35～11:55
不均一系触媒とマイクロ波加熱を使用するフロー型脱水素型酸化反応
(岐阜薬大、サイダFDS、第一薬大) ○市川智大、松尾知寛、吉村武郎、澤間善成、門口泰也、佐治木弘尚

** 休憩 (10分) **

[座長：横島聡(名大院創薬科学)]

** ポスターセッション・ショートオーラル (ひとり1分)
P-1～P-35=12:05～12:40

** (昼食) **

* ポスターセッション=P-1～P-35の発表者
(13:40～14:25の45分間)

[座長：笹井宏明(阪大産研)]

セッション③

- A-5. 14:30～14:45
有機リン化合物へのGrignard反応剤の選択的求核置換反応の開発
(東京医歯大生材研) ○西山義剛、鎌田修平、陌間由貴、吉田優、細谷孝充

- A-6. 14:45～15:00
不斉転写によるピナフルP-キラルチオホスホン酸の合成と利用
(岐阜大工) ○桑原一真、村井利昭

- A-7. 15:00～15:15
白金/パラジウム合金ナノクラスター触媒を用いた炭素-フッ素結合の室温での活性化
(阪大院工、分子研) Raghu Nath Dhital、野村圭吾、江原正博、櫻井英博

- A-8. 15:15～15:30
オゾン酸化によるアシルホウ素化合物の簡便な合成およびオリゴペプチド合成への応用
(北大院工、フロンティア化学セ、青山学院大理工、Department of Chemistry and Applied Bioscience、ETH Zurich) ○田口純平、池田俊希、高橋里奈、佐々木郁雄、Bode W. Jeffrey、伊藤肇

** 休憩 (15分) **

[座長：土井隆行(東北大院薬)]

セッション④

- B-4. 15:45～16:05
コバルト触媒によるフッ化アルキルとアルキルグリニャール試薬とのクロスカップリング反応—フッ素の特性を活かしたLate-Stageアルキル化
(阪大院工) ○岩崎孝紀、山下晃司、国安均、神戸宣明

- B-5. 16:05～16:25
イリジウム触媒を用いたアミド基選択的な還元求核付加反応の開発
(慶大理工) ○高橋芳人、吉井梨紗、中島実奈美、寄立麻琴、佐藤隆章、千田憲孝

- B-6. 16:25～16:45
(E)-4-[7] オルトシクロフェンの合成と立体化学
(九大先導研、九大院物質理工) ○井川和宣、町田康平、吉田祐樹、野口恭平、上原和浩、友岡克彦

** 休憩 (5分) **

[座長：菅敏幸(静岡県大薬)]

セッション⑤

- A-9. 16:50～17:05
ラメラリン類の合成研究
(神戸大院工) ○森井一樹、山根由暉、岡野健太郎、森敦紀

- A-10. 17:05～17:20
1-ヒドロキシタキシニンの全合成
(東大院薬) ○今村祐亮、吉岡駿、長友優典、井上将行

- A-11. 17:20～17:35
光学活性ピアントラセノール誘導体の合成とキラリティに基づく諸性質
(首都大院理、近大院理工、九大先導研) ○杉浦健一、秋元宣人、原伸行、今井喜胤、樋口博紀、菊池裕嗣

- A-12. 17:35～17:50
高次ポリアセンの系統的合成と応用
(関西学院大理工) ○北村圭、工藤涼司、羽村季之

** 休憩 (5分) **

[座長：須貝威(慶大薬)]

セッション⑥

- B-7. 17:55～18:15
トリス(ペンタフルオロフェニル) ボランで活性化されたキラルリン酸触媒を用いるエナンチオ選択的カルボニル-エン環化反応
(名大院工) ○望月拓哉、石原英幸、波多野学、石原一彰

B-8. 18:15 ~ 18:35
水中で効果的に機能するキラルルイス酸-単層カーボンナノチューブ複合触媒の開発
(東大院理) ○北之園拓、徐鵬宇、小林修
ミキサー [於: 南部食堂1階Mei-dining] (19:00 ~ 20:15)

第2日目

[6月7日・木]

[座長: 佐藤美洋 (北大院薬)]

セッション⑦

A-13. 09:15 ~ 09:30
触媒活性点周辺の空間制御に基づく高活性ハロゲン結合供与型触媒の創製
(中央大院理工) ○原口亮介、星野舜、酒井志徳、棚澤翔吾、平石陽一、遠藤幸四郎、森田能次、小松晃之、福澤信一
A-14. 09:30 ~ 09:45
基質捕捉型配位子による反応の位置選択性制御を活用した多置換インドール類の合成
(静岡県大薬) ○山口深雪、鈴木康平、佐藤友亮、萩原諒也、眞鍋敬
A-15. 09:45 ~ 10:00
0価パラジウム触媒を用いた共役エンインの1,3-二置換アレンへのエナンチオ選択的変換反応の開発
(東北大院薬) 塚本裕一、○金野達也、伊藤和也、土井隆行
A-16. 10:00 ~ 10:15
カチオン性金触媒による環化異性化反応を用いた含窒素中員環合成
(早大先進理工、早大国際理工センター) ○伊藤守、川崎涼介、井上大輔、高木朝日、Kyalo Stephen Kanyiva、柴田高範

** 休憩 (5分) **

[座長: 大嶋孝志 (九大院薬)]

セッション⑧

B-9. 10:20 ~ 10:40
水素原子の連続移動を介する多置換インドール合成法の開発
(東農工大院工) ○森啓二、吉田平
B-10. 10:40 ~ 11:00
変換可能なスルフィニル配向基を利用したアリアルスルホキシドの触媒的C-Hヨウ素化
(京大院理) ○野木馨介、山本啓太、大塚慎也、依光英樹
B-11. 11:00 ~ 11:20
速い分子内転位反応の制御に基づくマイクロフロー合成
(京大院工、POSTECH) ○金熙珍、井上圭太、Hyune-Jea Lee、Kyoung-Ik Min、Dong-Pyo Kim、吉田潤一

** 休憩 (10分) **

[座長: 忍久保洋 (名大院工)]

**ポスターセッション・ショートオーラル (ひとり1分)
P-36 ~ P-69=11:30 ~ 12:04

** (昼食) **

*ポスターセッション=P-36 ~ P-69の発表者
(12:55 ~ 13:40の45分間)

[座長: 宇野英満 (愛媛大院理工)]

セッション⑨

B-12. 13:45 ~ 14:05
求核的アルミニウムアニオンR₂Al-の合成と性質
(名大院工、中央大院理工) ○車田怜史、高森修平、山下誠
B-13. 14:05 ~ 14:25
パラジウム触媒による脱炭酸型アリル化反応を利用したα-OCF₃カルボニル化合物の不斉合成
(名工大院工) ○前野万也香、近藤寛也、平野和希、柴田哲男
B-14. 14:25 ~ 14:45
Ti-Claisen縮合及びTi-直接アルドール反応を基軸とする、alternaric acid及び(-)-azaspiroeneの不斉合成
(関西学院大院理工) 小國祐美子、杉美貴子、村裕章、永瀬良平、仲辻秀文、御前智則、○田辺陽
B-15. 14:45 ~ 15:05
テトロトキシンの合成研究
(名大院創薬) ○村上慶伍、藤間達哉、福山透、横島聡

** 休憩 (15分) **

[座長: 庄司満 (横浜薬大薬)]

セッション⑩

A-17. 15:20 ~ 15:35
ポリグルタミン病原因タンパク質を分解誘導する低分子の創製
(東大生研) 友重秀介、野村さやか、山下博子、大金賢司、橋本祐一、○石川稔
A-18. 15:35 ~ 15:50
核置換アメチリン類の合成と物性
(愛媛大院理工、愛媛大ADRES) ○稲葉勇人、小積遼平、森重樹、高瀬雅祥、宇野英満、奥島鉄雄

A-19. 15:50 ~ 16:05
酸素および硫黄架橋ピチオフェン骨格の形成と縮環反応によるチエノアセン誘導体の新規合成法
(岡山大院自然科学) ○栗本悠司、光藤耕一、菅誠治
A-20. 16:05 ~ 16:20
可逆的に構造変化するポルフィリン二量体の合成とフラレーンとの包接挙動
(名大院工) ○瀧口あさひ、廣戸聡、忍久保洋

平成 29 年度 企業冠賞受賞講演

受賞講演 (1)

[座長: 大森建 (東工大理)]

16:30 ~ 17:00

【シオノギ・低分子創薬化学賞】

「生物活性天然物の効率的合成のための新合成法論の開発」
(名大院生命農) 西川俊夫

受賞講演 (2)

[座長: 石原一彰 (名大院工)]

17:05 ~ 17:35

【東ソー・環境エネルギー賞】

「有機分子の触媒的脱水素化を基軸とする効率的有機合成ならびに水素貯蔵・水素製造」
(京大院人間・環境) 藤田健一

閉会式 17:40 ~ 17:45 大森建(東工大理)
【優秀ポスター賞(学生対象)の発表を兼ねて】

ポスターセッション発表一覧

6月6日: ショートオーラル&ポスターセッション (発表NO.=P-1~P-35)

- P-1. キラル次亜ヨウ素酸塩触媒を用いるスピロインドレニンの不斉合成
(名大院工) ○田中啓貴、請川直哉、UYANIK Muhammet、石原一彰
P-2. パラジウム触媒を用いたアリアルトリフラートの環化二量化反応
(名大院理、名大WPI-ITbM、JST-ERATO) ○平賀大都、古賀義人、齋藤雄太郎、村上慧、伊丹健一郎
P-3. 可視光触媒を用いた脱炭酸型アミノ化反応の開発
(名大院理、名大WPI-ITbM、JST-ERATO) ○榊原陽太、伊藤江里、村上慧、伊丹健一郎
P-4. 8員環構造を含む多環芳香族炭化水素の新規合成法の開発
(名大院理、名大WPI-ITbM、JST-ERATO) ○松原聡志、古賀義人、村上慧、伊丹健一郎
P-5. 選択的分子内C-H結合官能基化を指向したCeO₂担持Pd-on-Auナノ粒子触媒によるオーロン合成
(東大院工) ○谷田部孝文、金雄傑、山口和也、水野哲孝
P-6. 新規イミダゾリン-リン酸触媒を用いた環状スルホニルケチミンとインドールの不斉 Aza-Friedel-Crafts 反応
(名工大院工) ○古川貴崇、中村修一
P-7. シンコナアルカロイドスルホンアミド触媒を用いた2H-アジリンに対する不斉チオール付加反応
(名工大院工) ○三浦正剛、羽山大樹、中村修一
P-8. Synthesis of α-Fluoroimines by Copper-Catalyzed Reactions of Diarylacetylenes and N-Fluorobenzenesulfonimide
(名大院理) ○Yip Shu Jan、吉富哲志、村上慧、伊丹健一郎
P-9. 高活性次亜ヨウ素酸触媒を用いるカルボニル化合物の直接α-アジ化反応
(名大院工) ○佐原直登、UYANIK Muhammet、石原一彰
P-10. シナプス受容体人工リガンドの不斉合成と活性評価
(横浜市大理) ○塚本俊太郎、諸熊賢治、石川裕一、及川雅人
P-11. 3,6-ジヒドロ-1,2-オキサジン誘導体を基質としたCu/C触媒的タンデム型ピロール合成法
(岐阜薬大) ○安川直樹、鍛田麻里奈、佐治木弘尚、澤間善成
P-12. Organic Syntheses 二題: エノールシリル化及びクロスカップリングを利用する(Z)-α,β-不飽和エステル二種の実用的合成
(関西学院大院理工) ○堤健之、蘆田雄一郎、仲辻秀文、田辺陽
P-13. 脂肪族アルデヒド共存下アセタール選択的に進行する向山アルドール反応の開発
(岐阜薬大、阪大院薬) ○川尻貴大、加藤万帆、太田礼伊也、藤岡弘道、佐治木弘尚、澤間善成
P-14. 不均一系ルテニウム触媒を用いたN(sp²)原子の配位を鍵とするC-H結合の位置選択的ホウ素化
(北見工大) ○前田優奈、金田乃英瑠、村田美樹
P-15. 光分解性の保護基を効率的に利用したポリアミンの合成研究
(横浜市大) ○宮原正義、梁夕曠、塩崎宏樹、石川裕一、及川雅人
P-16. Lewis塩基-ハロLewis酸協奏型触媒を用いる中員環構築を指向したヨードラクトン化反応
(名大院工) ○辻泰隆、堀部貴大、石原一彰
P-17. 鉄(III)塩を触媒的開始剤に用いるラジカルカチオン[4+2]環化及び[2+2]環化反応
(名大院工) ○大村修平、堀部貴大、石原一彰

- P-18. 求電子剤と塩基によるアニオン性アルミナベンゼンの段階的置換反応 (名大院工、中央大院理工) ○久野真揮、鈴木克規、山下誠、仲村太智
- P-19. フルオロ基の特性を活用するキサンテン骨格へのブレニル基導入法 (東京薬大薬) ○望月美歩、古川千里、福世祐大、小林諒真、藤本裕貴、矢内光、松本隆司
- P-20. 光反応性フェニルチオウレア誘導体の合成と性質 (北大院農) 石田明子、橋本泰之、○橋本誠
- P-21. マクロサイクル骨格を有するポリN-ヘテロ環状カルベン配位子の合成および構造 (名大院工) ○小森彩香、伊藤淳一、山下誠
- P-22. ビスマベンゼンと求電子剤の反応 (名大院工) ○難波叶帆、石井拓弥、鈴木克規、山下誠
- P-23. アラインリレーを鍵とする多彩なスルフィドおよびエーテル類の簡便合成法の開発 (東京医歯大生材研) ○宮田敬大、中村悠、内田圭祐、吉田優、細谷孝充
- P-24. Pd触媒を用いた空気下でのアリル位アミノ化反応 (北大院総合化学、北大院工、フロンティア化学セ) ○齊藤すな歩、百合野大雅、大熊毅
- P-25. (L)-アミノ酸誘導体-銅(II)触媒によるキラル α -ハロアミドのエンタチオ選択的分岐合成 (名大院工) ○西村和輝、Yanzhao Wang、小倉義弘、山川勝也、石原一彰
- P-26. 赤色LEDを用いたBarton-McCombie反応の開発 (慶大理工) 小椋章弘、○一居直毅、高尾賢一
- P-27. Synthesis of *N*-methyl-5,15-diazaporphyrin exhibiting high electron accepting ability (名大工) ○Chia Wen Xi, T. Nishimura, H. Omori, H. Shinokubo
- P-28. アントラキノン-キサンテン複合型天然物アクレモキサンテンAの合成研究 (東工大理、京大薬) ○中小原大志、平野陽一、瀧川結、鈴木啓介
- P-29. 2-アザビオキサンチン誘導体の合成とその生物活性評価 (名大院理、名大WPI-ITbM、静岡大創造科学技術大学院、JST ERATO、静岡県大薬) ○上田彩果、北野浩之、崔幸薫、藤茂雄、中道範人、伊藤英人、萩原伸也、木下俊則、菅敏幸、河岸洋和、伊丹健一郎
- P-30. ベンザインの二量化反応を用いたシクロブタジエンの合成 (関西学院大院理工) ○池島諒、武田麻、齋藤允彦、羽村季之
- P-31. *N,N'*-ジメチル-2,7-ジアザピレンの合成と物性 (名大院工) ○竹腰遼、仲里巧、三宅由寛、忍久保洋
- P-32. 新規触媒Ru(II)-Proxによるジアゾアセトニトリルの高立体選択的不斉シクロプロパン化 (豊橋技科大工) ○井上颯斗、Soda Chanthamath、柴富一孝、岩佐精二
- P-33. テトラチア[8]サーキュレン酸化体の合成と物性 (名大院工、阪大院工) ○村瀬浩康、永田裕也、久木一朗、三宅由寛、忍久保洋
- P-34. 多置換キュバンの選択的合成法の開発 (京大院工) ○加藤結美、松原誠二郎
- P-35. 不均一系ルテニウム触媒を用いたN(sp²)原子の配位を鍵とするC-H結合の位置選択的ケイ素化 (北見工大工) ○村上依実香、鈴木雄太、前田優奈、村田美樹
- 6月7日: ショートオーラル&ポスターセッション (発表NO. =P-36~P-69)
- P-36. アザバキコーボウルを基盤とするドナー・アクセプター型分子の合成とその物性 (名大院工) ○田中佑宜、廣戸聡、忍久保洋
- P-37. 核置換シクロ[n]ピロールの合成 (愛媛大院理工、愛媛大ADRES) ○白石竜海、小積遼平、森重樹、高瀬雅満、宇野英満、奥島鉄雄
- P-38. 軸不斉ピナフルユニットを組み込んだカルバゾールBODIPYの合成 (岡山大院自然科学) 前田千尋、○永幡敬治、高石和人、依馬正
- P-39. ホスファフルオレセイン骨格を利用した深赤色蛍光カルシウムプローブの開発 (名大院理、名大WPI-ITbM、JSTさがけ) ○小笠原宏亮、多喜正泰、佐藤良勝、山口茂弘
- P-40. ピンサー型ビスイミダゾリン-パラジウム触媒を用いたニトロオレフィンに対する α,α -ジチオアセトニトリルの不斉共付加反応の開発 (名工大院工) ○徳永あかり、斎藤光、近藤健、中村修一
- P-41. テトロドトキシンの推定生合成中間体の合成研究 (名大院生命農、東北大院農) ○宮坂忠親、安立昌篤、杉本敬太、山下まり、西川俊夫
- P-42. ビナフル骨格を有するニッケルおよび亜鉛錯体の合成と二酸化炭素固定化反応への展開 (岡山大院自然科学) 高石和人、○山田侑弥、Nath Bikash Dev、前田千尋、依馬正
- P-43. エキシマー円偏光発光性を有するピレン誘導体の合成 (岡山大院自然科学) 高石和人、○岩知道和弘、前田千尋、依馬正
- P-44. フラーレンの選択的包接を目指したアザバキコーボウル金属錯体の合成 (名大院工) ○横田智也、廣戸聡、忍久保洋
- P-45. Aplysiatoxin類の統一的合成法の開発 (名大院生命農) ○新木悠介、野倉吉彦、中崎敦夫、西川俊夫
- P-46. β,γ -アルケニル α -イミノエステルに対するN-アルキル化を活用したタンデム反応の開発 (三重大院工) ○尾迫麻未、中浜健太、満田功、八谷巖、清水真
- P-47. [2,2]パラシクロファン骨格を有する面不斉ホスフィン触媒を用いた[3+2]型環化反応 (名城大薬) ○北垣伸治、中村颯斗、川端千晴、舩中莊太、寺本英樹、辻真由香、吉田絵巳香、鷺野友亮、稲野真衣、武永尚子、吉田圭佑
- P-48. 触媒的不斉シクロプロピルインドール誘導体の合成とその応用 (豊橋技科大院工) ○刀根雅也、Soda Chanthamath、柴富一孝、岩佐精二
- P-49. 不斉二核ロジウム触媒の開発—分子内C-H挿入反応を用いた置換 γ -ラクトン類の不斉合成— (京大化研、京大薬、名市大院システム自然科学) ○村井琢哉、陸文傑、栗林俊文、邢永寧、笹森貴裕、時任宣博、古田巧、川端猛夫
- P-50. トランス型テトラフルオロスルファニル基を有するピリジン誘導体の合成法の開発 (名工大院工) ○新名清輝、Das Prajwalita、徳永恵津子、柴田哲男
- P-51. 環状カルバゾール化合物の新規酸化的転位反応 (慶大薬) ○安井将満、花屋賢信、須貝威、東林修平
- P-52. α -フルオロ- β -ケトカルボン酸の脱炭酸塩素化反応と続く脱離反応による α -フルオロエノンの合成 (豊橋技科大院工) ○成瀬敦司、北原一利、岩佐精二、柴富一孝
- P-53. 7-endo環化によるsyn-2,7-dimethyloxepane環の構築 (名城大薬) ○坂井健男、堀泰子、山崎雅奈、高澤圭輔、森裕二
- P-54. β -オキソカルボン酸およびピリジン酢酸類の脱炭酸フッ素化反応 (豊橋技科大院工) ○河西遼大、安部春葉、片田美沙希、岩佐精二、柴富一孝
- P-55. ニトリルからの高効率アミド合成法の開発 (岐阜大院教育) ○桑原淳、吉松三博
- P-56. ヒドロキシルアミン類の反応性を利用したサブトマイシンHの全合成研究 (東工大理) ○志村純、安藤吉勇、鈴木啓介
- P-57. セレノカルボニル化合物の性質を利用した合成反応の開発 (岐阜大工) ○芝原文利、久保田早貴、鈴木雅史、福永知己、池山義基、村井利昭
- P-58. P/NH/N型直線性3座配位子を用いる嵩高いケトン類の触媒的不斉水素化 (名大物質国際研セ、名大院創薬) ○田中慎二、中根智志、北村雅人
- P-59. アミノアミドアルコール有機分子触媒を用いる活性メチレン化合物とニトロアルケン類との不斉マイケル付加反応 (室蘭工大院工) ○参鍋春花、関千草、奥山祐子、権根相、上井幸司、中野博人
- P-60. 触媒的利用を志向した新奇キラル6配位リン化合物の合成および物性評価 (名大WPI-ITbM、名大院工、CREST-JST) ○木村悠人、佐々木仁嗣、浦口大輔、大井貴史
- P-61. α -(カルボニルアミノ)アリルスズを用いたラジカルアリル化反応によるエナミドのE体選択的合成 (阪大院工) ○鈴木健介、西本能弘、安田誠
- P-62. 歪んだトランス縮環骨格を糖部骨格とするヌクレオシド類の合成 (名大院創薬) ○兒玉哲也、牧野亜衣、近田達哉、中野篤志、大石和馬、廣明秀一
- P-63. アニオン捕捉型超分子キラルプレステッド酸触媒の開発と応用 (名大院工) ○鈴木隆平、大松亨介、大井貴史
- P-64. イソキサゾールより発生するニトレン錯体を鍵中間体とする含窒素複素環構築反応に関する研究 (京大院工) ○江口輝、佐々木真澄、南谷篤、岡本和紘、大江浩一
- P-65. CF₃-Pd- π -benzyl中間体を鍵とした、Stille Couplingによる α -トリフルオロメチルホモアリル誘導体の合成 (名工大院工) Punna Nagender、○原田恭輔、徳永恵津子、柴田哲男
- P-66. アシルシランとボロン酸エステルとの分子内光カップリングを利用するtrans-縮環骨格構築法の開発 (学習院大理工) ○山口航平、清水司、三浦有人、石田健人、草間博之
- P-67. 新規キラルハイドロジェンボレーの創製と触媒機能評価 (名大 WPI-ITbM、名大院工、CREST-JST) ○上岡丈人、田中直也、浦口大輔、大井貴史
- P-68. ルイス酸、ルイス塩基間での電子移動によるラジカルイオンペア形成と光酸化還元触媒反応への展開 (名大院工) ○今泉直樹、荒巻吉孝、大井貴史
- P-69. キラルプロリノールホスフィン-イリジウム触媒/ギ酸系によるケトンの不斉還元 (北大院理) ○村山大明、澤村正也

参加登録予約申込締切

5月10日(木)

ミキサー

第1日目の発表終了後 同会議場内別会場で開催予定
開催：参加費（一般）3,000円 / （学生）2,000円

参加登録予約申込方法

下記①または②でお申し込み下さい。②の場合、事務手続き（登録受付、予稿集送付など）が遅れる可能性がありますので、なるべく①でお願いいたします。

- ① インターネットホームページ
https://www.ssocj.jp/より
- ② 下記申込書に必要事項をご記入の上、郵便またはFaxにて
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5
公益社団法人有機合成化学シンポジウム係
Tel 03-3292-7621 Fax 03-3292-7622

また、①②とも、お申し込みと同時に参加費の送金をお願いします。送金方法は、現金書留、郵便振替（00100-1-157690）または銀行振込〔みずほ銀行神田支店（普通）1620638、名義：公益社団法人有機合成化学協会〕のいずれかをご利用下さい。

参加登録費(消費税含)：

	予約申込+	当日申込
一般(主催・共催会員)	10,000円	12,000円
主催シニア会員*1	6,000円	8,000円
一般(会員外)	15,000円	16,000円
学生*2	予稿集付→	5,000円
	予稿集なし→	2,000円

ミキサー：（一般）3,000円 / （学生）2,000円

+ 予約申込の方には予稿集を事前に連絡先宛に発送します

*1 66歳以上の有機合成化学協会・個人会員の方が対象。

*2 会員、会員外を問いません。ただし研究生、研究員は学生会費の適用は受けられません。

発表者の学生会員は「予稿集付」参加費での登録となります。

※予稿集は余裕をもって準備しますが、残部がなくなり次第、受付終了となります。

※予稿集発送後にキャンセルを申し出られても理由の如何を問わず参加費返金ができませんのでご注意ください。

※予稿集のみご希望の方は、（残部が出た場合につき）シンポジウム終了後に4,000円で頒布いたします。

[注意] 「予約申込」締切の翌日からすべて「当日申込」の金額になりますのでご注意ください。

第113回有機合成シンポジウム参加申込書

(H30.6.6～7)

氏 名				受付番号		
会 員 資 格 ※該当箇所に☑を入れて下さい	☐ 有機合成化学協会 会員NO. ☐ 個人会員 ☐ 法人会員 ☐ 学生会員 ☐ シニア会員			☐ 日本化学会 ☐ 日本薬学会 ☐ 日本農芸化学会		
勤 務 先 名 または学 校 名				職 名	☐ 会員外 ☐ 会員外学生	
同 所 在 地	〒					
連 絡 先	〒 FAX e-mail: ※印をいれてください→自宅() 勤務先()					
受 講 料	円	送 金 方 法	銀 行・郵便振替・その他 ☐ 予稿集なし			
ミ キ サ ー いずれかに○印	(一般：3,000円 / 学生：2,000円) 参 加 不参加		備 考			
請 求 書・領 収 書 の 発 行	請求書発行 希望() 不要()		領収書発行 希望() 不要() ※入金確認後の発行となります			

※5月10日迄に予約された方には予稿集を連絡先宛に郵送します。（おひとりにつき本申込書1枚ご作成してください）
※学生の方は必ず所属研究室名までご記入下さい。（予稿集等、郵便物をお届けすることができないので）